

# ヒロシマ 悲惨さ写真で



被爆した市民や市街地の写真など展示作品を披露する大西知子さん＝4日、広島市

松前出身の大西さん 貴重な被爆当日の写真などを集めた「平和への発信 広島原爆展」が18～23日、松山市堀之内の県美術館南館で開かれる。広島市在住の大西平和記念資料館でピ

## 県美術館で原爆展

ースボランティアを務める松前町出身の小学校教諭大西知子さん(66)が親交のあった元中国新聞カメラマンから譲り受けた写真を展示し、原爆の悲惨さや平和の尊さを伝える。

大西さんは34年前に広島市に移り住み、近所の被爆者らと交流するうちに原爆問題を身近に感じるようになった。教壇に立つ傍ら同資料館で16年間ボランティアを務め、被爆した女性の人生を描いた書籍も出版。広島市長の平和宣言に盛り込む被爆体験談を検討する市懇談会メンバーも担い、「愛媛出身でも、真心を持って人に接すること絆を

つくれた」と振り返る。

原爆展は2011年以来、4年ぶり2回目。親交のあった元中国新聞カメラマン松重美人さん(故人)が撮影した原爆投下当日の救護所の様子や被爆した市民の姿などの写真、広島平和記念資料館作成のポスターなど約150点を展示するほか、千羽鶴を折るコーナーも設ける。

大西さんは「現在の平和や核兵器の問題のほか、自分でできることも考えてほしい」と呼び掛けている。入場無料。問い合わせは大西さん 電話090(2862)5983。

(高田未来)